

科目分類	看護専門科目 領域別看護	開講時期	1年	後期		
授業科目	成人看護学概論					
選択／必修	必修	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	内布 敦子 ・ 山崎 加代子					
メールアドレス	a-uchinuno@tsuruga-nu.ac.jp(内布) k-yamazaki@tsuruga-nu.ac.jp(山崎)	オフィスアワー	授業の前後			

授業目的	<p>成人看護学の概念および成人期の発達課題、健康障害の特徴について理解する。全体像モデル図を使って、成人期の対象および家族、社会組織等、取り巻く環境について学ぶ。</p> <p>成人看護学において、患者理解や看護の実際に活用できる中範囲理論についても理解を深める。</p>
授業概要	<p>ライフサイクルからみた成人期にある対象の全体像が把握できるよう授業を展開する。成人期の特徴の視点として、発達段階、健康障害の種類、健康の段階、生活過程、取り巻く環境等、事例を用い患者理解を深める。また、患者理解や看護に有用な中範囲理論についても学習する。</p>
授業内容	<p>第1回 成人看護学の対象の理解 (ライフサイクルからみた成人期の特徴)</p> <p>第2回 成人期にある人の健康障害の特徴</p> <p>第3回 健康の段階に応じた看護(急性期、リハビリ期)</p> <p>第4回 成人看護に有用な中範囲理論 (ストレス・コーピング理論、危機理論、障害受容)</p> <p>第5回 健康の段階に応じた看護(慢性期、ターミナル期、慢性疾患の特徴) 慢性期の人間の反応をとらえる概念(不確かさ、適応、再構築等)</p> <p>第6回 成人看護と保健行動(保健行動学、行動経済学と看護、コンプライアンス、アドヒアランス、コンコーダンス、開発された measurement、意思決定支援に関わる看護)</p> <p>第7回 成人学習理論(アンドラゴジー)、ケアリングによる行動変容</p> <p>第8回 慢性期の看護に有用な理論(セルフケア理論、適応モデル)と看護過程</p> <p>担当 第1回～第4回 山崎 第5回～第8回 内布</p>
教科書 参考書等	教科書： 大西和子・岡部聡子編集：成人看護学概論、ヌーヴェル HIROKAWA
成績評価 基準・方法	レポート：課題は授業の中で提示する
履修要件	特になし

留意事項 その他	グループワークに積極的に参加すること。 本科目を履修していないと周手術期看護学、慢性看護学は履修できません。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての臨床経験を活かして、成人期の健康を支援するための看護の基本的な知識や方法について講義および演習を行う。